

研究課題名	GLP-1 受容体作動薬および GLP-1/GIP 受容体作動薬治療における 体重反応性の予測因子と代謝機能変化の検討
試料・情報の利用目的・ 利用方法（他機関へ提 供する場合その方法）	肥満は、耐糖能異常（血糖値が高い状態であり糖尿病に進行する危険性がある状 態）、脂質代謝異常、高血圧、非アルコール性脂肪性肝疾患（アルコールをほとんど飲 まないのに肝臓に脂肪が蓄積された病態）などの健康障害との関連が強いため、肥満治 療を行う事によりこれらの健康障害やリスクを改善することが期待できます。 最近、GLP-1 受容体作動薬および GLP-1/GIP 受容体作動薬という、血糖改善と体 重減少に対して高い効果のある肥満治療薬が承認されました。これらの薬剤を使用した 治療はどのような人に効果があり、体重の減少が体にどのような効果をもたらすかを調べる 事がこの研究の目的です。
研究対象者	2024年9月1日から2026年12月31日までに当院内分泌代謝科で肥満治療を 行った方。
利用又は提供する試 料・情報の項目	年齢、性別、病歴、肥満治療薬の種類、血液検査結果（HbA1c、血糖値、中性脂 肪、AST、ALT）、体重、HOMA-IR（インスリン抵抗性＝インスリンが効きにくいかど うかの指標）、FIB-4 index（肝臓の線維化を予測するスコア）、食行動質問票、基礎代 謝量
研究予定期間	研究機関の長の実施許可日から2027年3月31日まで
試料・情報の取得方法	通常診療の過程で得られます
試料・情報を利用する者 の範囲	この研究はベルランド総合病院 内分泌代謝科のみで行います
試料・情報の管理について 責任を有する者の氏名又 は機関の名称	ベルランド総合病院 院長 片岡 亨
研究に協力したくない場合	研究への試料・情報の利用についてご同意いただけない場合は下記お問い合わせ先まで お申し出ください。不同意の場合でも診療に不利益になることはございません。
利益相反について	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問合せ先	ベルランド総合病院 小児科・内分泌代謝科 氏名：端 里香 メールアドレス：r_hashi@seichokai.or.jp 〒599-8247 堺市中区東山 500-3 TEL：072-234-2001（代）